

**令和 7 年度 第 1 回生野区区政会議  
全体会**

1 開催日時

令和 7 年 6 月 23 日（月） 19 時 00 分～

2 開催場所

生野区役所 6 階 大会議室

3 出席者

（区政会議委員） 22 名

森口委員、長谷川委員、平島委員、西村委員、加藤委員、永裕委員、中村（寛）委員、須郷委員、籾本委員、倉本委員、井筒委員、田村委員、福田委員、北口（充）委員、島本委員、西野委員、廣川委員、足立委員、安委員、川中委員、山納委員、今井委員

（大阪市会議員） 4 名

木下議員、武議員、原口議員、山田議員

（大阪府議会議員） 1 名

角谷議員

（その他関係者） 6 名

田中様、多田様、和田様、新井様、三木様、船方様

（生野区役所） 15 名

筋原生野区長、大川副区長、宮城企画総務課長、木村地域まちづくり課長、竹中まちづくり推進担当課長、山崎安心まちづくり担当課長、中條地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長、山東教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長、松村保険年金担当課長、横山生活支援担当課長、森岡保健福祉課長、藤原子育て・地域福祉担当課長、武田窓口サービス課長、森区政推進担当課長、金田企画総務課長代理

#### 4 委員に意見を求めた事項

##### (1) 部会報告

くらしの安全・安心部会/まちの未来部会/こどもの未来部会

##### (2) その他

- ・資料1 令和6年度生野区運営方針振り返り(全体会・各部会共通)
- ・【参考資料1】主なご意見等と区の考え方、対応  
(令和7年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会)
- ・【参考資料2】主なご意見等と区の考え方、対応  
(令和7年度 第1回生野区区政会議 まちの未来部会)
- ・【参考資料3】主なご意見等と区の考え方、対応  
(令和7年度 第1回生野区区政会議 こどもの未来部会)
- ・【参考資料4】令和7年度生野区区政会議委員改選について

#### 5 会議内容

##### ○森区政推進担当課長

それでは皆さま、大変お待たせいたしました。お時間になりましたので、ただ今から令和7年度第1回生野区区政会議全体会を開催させていただきます。

本日はご多用のところ、また、急な大雨でお足元が悪い中、当会議にご参加いただきましてありがとうございます。私は事務局の生野区役所企画総務課の森と申します。着座にて失礼させていただきます。よろしくお願いいたします。

それではまず、本日ご出席の委員の皆さまをご紹介します。委員名簿の順でお名前をお呼びしますので、お名前を呼ばれた際はお手数ですが、ご起立いただきますよう、よろしくお願いいたします。

森口委員でございます。

##### ○森口委員

森口です。よろしくお願いいたします。

##### ○森区政推進担当課長

長谷川委員でございます。

##### ○長谷川委員

よろしくお願いいたします。

##### ○森区政推進担当課長

平島委員でございます。

##### ○平島委員

平島です。よろしくお願いいたします。

##### ○森区政推進担当課長

西村委員でございます。

- 西村委員  
舍利寺の西村です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
加藤委員でございます。
- 加藤委員  
加藤です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
永杢委員でございます。
- 永杢委員  
よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
中村寛子委員でございます。
- 中村（寛）委員  
田島の中村です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
須郷委員でございます。
- 須郷委員  
こんばんは、須郷です。どうぞよろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
簗本委員でございます。
- 簗本委員  
簗本です。どうぞよろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
倉本委員でございます。
- 倉本委員  
小路の倉本です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
井筒委員でございます。
- 井筒委員  
こんばんは、東小路の井筒です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
田村委員でございます。
- 田村委員  
こんばんは、田村です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
福田委員でございます。

- 福田委員  
巽南の福田です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
北口充宏委員でございます。
- 北口（充）委員  
巽東の北口です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
島本委員でございます。
- 島本委員  
よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
廣川委員でございます。
- 廣川委員  
よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
足立委員でございます。
- 足立委員  
足立です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
安委員でございます。
- 安委員  
安です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
川中委員でございます。
- 川中委員  
川中です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
山納委員でございます。
- 山納委員  
山納です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
今井委員でございます。
- 今井委員  
今井です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
本日、川本委員、栗津委員、衣川委員、村岡委員、玉井委員、北口英晃委員、

塚本委員は、所用にてご欠席と連絡をいただいております。なお、西野委員は少し遅れておられるようです。あと、中村一仁委員も本日所用が入りご欠席と伺っております。

本日の会議は、委員定数 30 名に対しまして、現在 21 名の出席がございますので、定数の 2 分の 1 以上の出席にて有効に成立していることをご報告いたします。そして、本日の傍聴者は 0 名となっております。

続きまして、条例第 8 条 1 項に基づく市会議員の皆さまのご出席についてご報告いたします。木下誠議員でございます。

○木下議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

武直樹議員でございます。

○武議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

原口悠介議員でございます。

○原口議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

山田正和議員でございます。

○山田議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

また、同じく条例第 2 項に基づきます関係者の出席についてご報告いたします。角谷庄一大阪府議会議員でございます。

○角谷議員

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

同じく関係者といたしまして、歴代の議長などを務めていただきました皆さまのご出席についてご報告いたします。田中照章様でございます。

○田中様

こんばんは。よろしくお願いいたします。

○森区政推進担当課長

多田龍弘様でございます。

○多田様

よろしくお願いいたします。

- 森区政推進担当課長  
和田友祐様でございます。
- 和田様  
こんばんは。
- 森区政推進担当課長  
新井光淑様でございます。
- 新井様  
こんばんは。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
三木幸男様でございます。
- 三木様  
よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
船方ひとみ様でございます。
- 船方様  
こんばんは。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
ありがとうございます。続きまして、区役所の方ですが4月1日の人事異動がありまして、着任しました課長を紹介させていただきます。まちづくり推進担当課長の竹中でございます。
- 竹中まちづくり推進担当課長  
竹中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 森区政推進担当課長  
保健福祉課長の森岡でございます。
- 森岡保健福祉課長  
森岡です。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
生活支援担当課長の横山でございます。
- 横山生活支援担当課長  
横山でございます。よろしくお願いします。
- 森区政推進担当課長  
事務局の企画総務課長代理の金田でございます。
- 金田企画総務課長代理  
金田と申します。よろしくお願いいたします。
- 森区政推進担当課長  
なお教育委員会事務局指導部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長

の嶋田は本日、他の公務で欠席させていただいております。申し訳ございません。

区政会議に関します本市の規則によりまして、本日まで出席いただいた委員の皆さまのお名前、発言内容等が公開されます。事務局におきまして会議録を作成し、後日、区のホームページ等で公開させていただきますほか、会議の様子を収録しまして、後日 YouTube にて配信し、どなたでも閲覧できるような形にしていまいりますので、録音や撮影につきまして、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。なお、会議録を作成します都合上、ご発言の際はマイクを使用させていただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

さて本日の全体会では、5月・6月に開催しました各部会でいただきましたご意見等について共有させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の資料についてご案内させていただきます。

「令和7年度第1回生野区区政会議全体会 次第」をご覧ください。

資料1「令和6年度生野区運営方針振り返り」です。参考資料1・2・3として先日の各部会でいただきました「主なご意見等と区の考え方、対応」という資料でございます。この資料の最初のところに、各部会で「区として特にご意見を頂戴したいこと」として意見交換のテーマとしたものを掲載しております。参考資料4として、「令和7年度生野区区政会議委員改選について」という資料でございます。

最後に次第には記載はございませんが、区政会議全体会に関するアンケート用紙を置かせていただいております。お手数ですが、お帰りまでにご記入いただき、出口の方で回収させていただきます。

資料がお揃いでない方はいらっしゃいますでしょうか。

それではここからの議事進行につきましては、北口議長にお願いしたいと思います。北口議長よろしくお願い申し上げます。

○北口（充）委員

議長の北口です。ただいまから令和7年度第1回生野区区政会議全体会を開催します。それでは、開催にあたりまして、筋原区長からご挨拶をお願いします。

○筋原生野区長

皆さんこんばんは。生野区長の筋原です。本日はお仕事やご家庭のご用事でお忙しい中、また直前に大雨になってしまい、お足元の大変悪い中、生野区の区政会議全体会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

委員の皆さまにおかれましては、先に開催いたしました各部会にもご出席いただき、令和6年度 of 取組の振り返りと、また、生野区役所として特にご意見・アイデアをいただきたいテーマについて貴重なご意見を頂戴したところです。

本日、各部会の報告をさせていただき、全体で共有してまいりたいと考えてお

ります。部会同様にこの全体会におきましても、ぜひ忌憚のないご意見を賜りまして、より良い区政に繋げていきたいと思っておりますので、本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ○北口（充）委員

ありがとうございました。それでは早速議事に入りたいと思いますが、限られた時間で円滑に進めていただけるよう、ここからは、学識委員の山納委員に会議の進行をお願いしたいと思っております。山納委員よろしくお願いします。

#### ○山納委員

議長からご指名いただきました山納です。座らせていただきます。

それでは、会議の次第に沿いまして、まず議事1「部会報告」に入ります。

部会報告の後に委員の皆さまの意見をお聞きしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。全員にマイクが回ってきますのでお忘れなきように。

さて、最初に、くらしの安全・安心部会からの報告をお願いします。

#### ○川中委員

くらしの安全・安心部会の報告を川中よりさせていただきます。

今回、意見交換のテーマとして区役所から示されたのは、防災の次世代を担うジュニア災害リーダーの育成や、女性目線での避難所運営のための取組を行うにあたり、女性が積極的に参加していくにはどのような方法が有効かというものでした。

ジュニア災害リーダーの育成に関して大きく三つの課題が示され、今後の検討を要することが指摘されました。一つ目は継続性に関する課題です。中学校を卒業した後、どのように継続的に活動していくのかというところです。二つ目は規模や活動の頻度に関する課題です。こちらについては、学校との連携の強化が必要ではないかと指摘されています。三つ目に専門性に関する課題も指摘されました。これについては教育・研修の機会拡充が必要ではないかという意見でした。

資料の2ページ目、女性目線での避難所運営のための取組についてですが、会議の中では既に女性が避難所運営で活躍をしていることを確認した上で、運営面での参画にはやはり課題があるのではないかと触れられました。加えて、運営に関わっている女性の方々の固定化や高齢化という課題も指摘されました。そうした課題に対して、PTA等を通した若い世代の参画が必要ではないかということが述べられております。

また、災害は発災時間や災害の種類によって担い手や動き方が大きく変わってくるので、災害について多面的に話し合う場を設けていくことが必要ではないかと指摘されました。

また、こうした議論をしていく前提としての基盤整備に大きな課題があるの

ではないかということも委員の方々から指摘されました。例えば、物資や物品など、必要なものが必要なだけきちんと担保されているのかに課題があるということです。また、次のページにも指摘されていますが、要支援者の方々の情報共有などにも課題があると関連して述べられました。

以上が、区役所から与えられたテーマに関する意見でしたが、その他、委員の皆さんから出たご意見もいくつか紹介します。

資料の3ページ目、一つ目に交通対策に関する意見が出されました。混雑している場所での安全確保が課題になっており、対策を求めたいという意見でした。また古民家の耐震化の推進をより図っていく必要があるのではないかとことや、昨年行われた外国人住民との共生社会実現に向けた調査について、全文の公開を求める意見などが出されました。

以上がくらしの安全・安心部会の報告となります。細かい部分は資料をご清覧ください。

#### ○山納委員

ありがとうございました。続きまして、まちの未来部会について私から報告させていただきます。参考資料2が配られているかと思います。

まちの未来部会は、区役所からいただいた意見交換のテーマが、地域行事を盛り上げるためにはどのような方法が有効かというものでした。

いろいろなポイントがあったかと思います。特に皆さんは、まちづくり協議会や各地域でいろいろな活動をされているということで、「その地域での活動がどう上手くいっているのか、いっていないのかを共有してみましよう」というような話し合いをしました。総じて、見えてくるポイントは担い手の高齢化というようなことでしょうか。皆さん高齢化しているので、若い人にいかに参加してもらうか、若い移住者にどうやったら町会に入ってもらえるか。これは、地道に足を運んで説得をしていく、話をしていくことが大事ではないかと話し合われたりしました。この、皆さんを巻き込んでいく工夫についていろいろな話があったのですが、特にうまくできている事例として、盆踊り実行委員会というもののお話がありました。盆踊りを実現していくために実行委員会だけではなくて、いろいろな人を巻き込んでいって全員でやることができました。そういう地域での小さな成功体験を積み重ね、地域で受け継いでいっているというお話や、あとは子どもたちのためにお祭りで模擬店をやるが、その模擬店がしょぼいといけいないので、年に一つずつでも新しい店を増やしていくという取組をずっと続けているというようなお話をしていただきました。

そのように、実行委員会などの中心になる方々が頑張って地域の祭りを支えている一方で、子どもはたくさん来てくれるが、その親が手伝ってくれないものだろうかというような悩みの声も聞かれました。また、子どもたちに楽しんでも

らうとともに、外国の方がすごく増えてきているので、この方たちにも参加してもらえような企画を作っていくことはできないだろうかという話も上がりました。

また、継承のための工夫として、祭りのようなすごく大変なことをやるだけではなくて、ソフトな内容を挟んでいくということで、気軽に参加できるような関係性を作っていく必要があるのではないかとということや、若い人の得意分野で力を借りることを通じて、世代間の継承といいますか、そもそも地域の活動に参加していただく、興味を持っていただくということが、繋がっていけばいいのではないかと話もありました。

3 ページ目、テーマ以外のお話で上がっていたこととして、万博に合わせてやっている「EXPO いくのヒートアッププロジェクト」のマンスリーヒートアッププロジェクト 100 について、どういう状況か伺ったところ、100 個のプロジェクトを立ち上げて、実際に 101 プロジェクトを実施したということでした。万博に行くために多くの外国の人が大阪に来ているとは思いますが、その人たちが生野区に足を運ぶというよりも、おそらくこれを契機に地域の活動をヒートアップさせていこうという、きっかけ作りとしてやってきたというお話や、YouTuber のジョーブログさんと連携してどれぐらいの発信がなされたのか伺ってみたところ、4 回の動画で 140 万回を超える閲覧という、YouTuber として発信力の高い人に生野区の発信をしていただいたということを教えていただきました。

あとは自転車対策として、外国籍の人が多くなっているが、来年 4 月から自転車の法律が厳しくなることを知っているだろうか、伝えないといけないよねという話も上がりました。

全体としてお話をしていたときに、この地域の活動をどう盛り上げていくかということと、区役所任せではなく、ヒートアップするのは区民であり、我々がどう地域を盛り上げていけるのか、そういう方向性でやれることを探していくのが良いのではないかと話をしました。

まちの未来部会の報告は以上です。

続きまして、こどもの未来部会からの報告をお願いします。

○今井委員

6 月 6 日にありましたこどもの未来部会の報告をします。

意見交換のテーマは子どもが地域の大人に学ぶことで多世代交流を進めるにはどのような工夫が必要かというものでした。それに対しての意見はいくつか出ましたが、後半にお話しする意見の方がメインだったということを最初にお伝えしておきたいと思います。

まず多世代交流ですが、「難しいよね」というものと、「でもこういうことを頑

張っているよね」ということの二つでした。

まず「難しいよね」という内容は、やっぱり担い手がなくなっているのも、特に PTA にアドバイスをしてくれる人とか制度があれば、多世代交流ももっと進むんじゃないかということでした。あと参考資料 3 の一番下ですが、学校再編などがあり、再編された学校では生涯学習活動ができない決まりとなっているので、新しい企画をしたいと思っても、多世代交流ができないとか、学校再編・跡地活用がある中で、場所を使いたいけれども、そこで何かすることが少し難しくなっているといった難しさがまず挙げられました。

それ以外に、大きなイベントもいいけれども、小さなものを日常的にやることで、子どもたちの見守りが続くんじゃないかということで、くじをやって子どもたちに楽しんでもらうことをしたり、献血や盆踊りの時にスーパーボールすくい・綿菓子などを渡して子どもたちと楽しんでいるとのお話がありました。また、子どもたちに大人が学ぶこともあってもいいんじゃないかとのご意見もありました。あと、先ほどもありましたが、外国につながる家庭の中で、親が子どもに何か文化や伝統などいろいろなことを伝えたくても、地域の人たちと一緒に取り組んでもらうにはどうしたらいいのか分からず、ご本人たちがそういったことを実施するのは難しいので、地域からも「一緒に何かしよう」というような仕掛けがあるといいのではないかという意見も出ました。

意見交換のテーマと絡めて 2 ページ目に行きます。学校再編と跡地活用の問題がやっぱり多世代交流にも大きく影響してくるとの意見が大半でした。「学校再編があったけれどもその後どうなったのか、しっかり検証する時期が来ているんじゃないか。」そして「学校再編があった後、跡地活用は本当に住民参加で進められているのか。」との意見が出ました。ここに詳しく書いてますが、例えば「事業者と地域の活発な議論は望んでおり、まだ跡地活用が未確定なところは事業者と地域がいかに関わっていくかを、行政側がイニシアティブをとって意見をしっかり伝えてほしい。」とか、「授業時間以外に全く勉強しない子の割合が高いけれども、どのように検証していったらいいか」みたいなお話も出ました。

下の方に行きます。「学校の適正配置として学校再編が必要というのはわかる。ただ生野未来学園や田島南小中一貫校は、丸々 3 年が経つので、再編後にそれが一体どうだったかということも、学校や地域はいろんな角度から調査してアンケートをとってほしい」という意見が出ました。あと PTA に関しても、「学校再編後に広がった地域でどうやって PTA 活動を継続していくか。何かサポートがあってもいいんじゃないか。」という意見が出ました。

3 ページ目に行きます。生野支援学校の移転に伴って大きなスクールバスがやってくるのが安全面で少し危険ではないかという点。あと通学路の確保として、御幸通りに車が入ってくるが、いつなるとき事故が起こるか分からないとの

意見も出ました。

今回のこどもの未来部会では、主に学校再編後にどうなったかを検証してほしいという強い声があるのと、学校の跡地活用後、住民参加が進んでいくような取組をぜひ継続してやってほしいというご意見が出ました。3年経って今こういうことを継続して考えていくべきではと熱く強く要望が出たことをお伝えします。

○山納委員

ありがとうございました。それでは、意見交換に移っていききたいと思います。

3名から各部会の報告がありましたが、報告に対して質問やご意見などがありましたらご発言いただけたらという時間です。8時10分までで22名なので1人2分ぐらいの時間があります。おそらく区役所へ質問される方もおられると思います。質問への返答時間も含めて、何となく目分量をつけてお話しいただければと思います。よろしくお願いいたします。

マイクを回したいと思いますが、いきなり平島さんに振らせていただいても大丈夫ですか。部会での報告は既にしていただいているので、その中で特に大事だと思うことでも結構ですし、部会でなかなか話に上がらなかったことをこの際お話しするということでも結構です。どうぞよろしくお願いいたします。

○平島委員

もう一度すいません。議案は何ですか。

○山納委員

自由にお話しいただきますが、部会からの報告があり、その部会にも出ておられて発言もされていると思いますが、特に皆さんで共有しておいた方がいいと思うテーマや、部会では、話としては上がらなかったけれどもやはり大事だからみんなと話し合っておきたい、そんなテーマをお話しいただけると助かります。

○平島委員

御幸森の平島と申します。よろしくお願いいたします。

前回まちの未来部会でお話ししたのは、うちの地域は、御幸森まちづくり協議会として、盆踊り・クリスマスイルミネーション・さくらまつりの三大イベントをやっており、大盛況なんですけど、一番難儀なのが、やっぱり担い手問題です。

うちの地域は最近、勝五地車保存会というだんじりの団体とちょっとコラボをしていて助かっています。

8年ぐらい盆踊りをやっているんですが、小学生・中学生など子どもたちがいっぱい来て、その親御さんもいっぱい来ているんですが、ちょっとボランティアを頼んでも一切来てくれない。覗きには来るけど、手伝いたくはないっていうのをやっぱり僕は感じています。どうやったら見るだけじゃなくて手伝ってもらえるようにできるかというのがずっと悩んでいる課題ですね。逆に言えば、皆さ

ん方にどうしたら良いか教えて欲しいですね。

○山納委員

ありがとうございます。続きまして須郷委員お願いします。

○須郷委員

林寺の須郷です。まちの未来部会では、どのように地域の行事を盛り上げていくのかというテーマでしたが、山納委員もおっしゃったように、林寺でも世代交代が課題になっています。盆踊りをきっかけに「盆踊り実行委員会」、今は「活動委員会」という名前に変わっていますが、若手を各町会から推薦していただいて組織しているグループがあります。そこが実働部隊として動く。ただし、長年、町会長さんや女性部長さんが築いてきた盆踊りや地域活動がありますので、活動委員会だけではうまくいきません。各町会をはじめ地域の団体等にご協力をいただいて、町会・団体ごとに出し物や模擬店などを出し、生野区役所にもご支援いただいて盆踊り大会を盛り上げていくように努めてきて、それが今に繋がってきているのかなと思っています。

それと、学校再編が行われたために、今、林寺小学校がなくなってアブロードインターナショナルスクール大阪校がありますけれど、インターナショナルスクールなので公立の小学校のようにはいきません。一番の課題は、林寺小学校時代には、地域に子どもも保護者もいましたから、学校を起点にいろいろな活動もあって、その保護者をターゲットにいろいろとお誘いしたりご説明をしたりして、“一本釣り”って言われるような形で役員や委員になっていただくきっかけやチャンスがあって、何とか集められましたが、今はそれができなくて。アブロードインターナショナルスクール大阪校があるじゃないかと言われても、20 数か国の子どもたち・保護者を相手に、公立の小学校みたいにはいきませんので、これが本当に難しく厳しい課題ですね。

もう少しお話ししてもよろしいですか。本日の資料にも、前回の部会の資料にもありましたが、交通問題が出ていますよね。皆さん方も、特に車を運転される方は分かると思うんですけど、路地から大きな道に自転車で勢いよく出てくる人がびっくりするほど多いんですよね。左右の確認をせずにスピードも緩めません。タイミングが合えば完全に事故になっている。私は自殺行為だと思っているんですけど、何とか生野区として注意徹底とか、意識改革ができないものかと、その度に思っています。それと、1月27日から大阪市内全域路上喫煙禁止になりましたよね。私は期待していたんですが、その後も喫煙やポイ捨ては減少していません。地域のごみで断トツのトップは吸殻です。私が声を大にして言いたいのは、「捨てるんだったら吸うな」ということです。しかも今はもう全域喫煙禁止なんですよね。こうしたことがちゃんとできるように、生野区で盛り上げていきませんか、「安全なまち生野区」、「ポイ捨てとかをしない綺麗なまち生野区」

みたいな取組を本気でやりませんか。よろしくお願いします。

○山納委員

ありがとうございます。では倉本委員お願いします。

○倉本委員

小路地域の倉本でございます。お願いいたします。

まちの未来部会で、2人もおっしゃっていたように、若い人をいかに地域の行事に担い手として引き込んでいくのかというのが、永遠の課題だなとすごく感じております。私自身もまだ若い世代なのですが、昔から地域と一緒にいろいろやらせていただいていますけど、同世代の人はなかなか地域に入ってこないというのが見て取れます。あとは主体になっていただけるのがどうしてもまち協や社協の方々なので、すごく高齢化していて、事前の準備から後片付けまで各町会長の皆さんがされているのを見ている中で、何かできることはないかなと思いつつも、やっぱりできることも限られていまして。その繋がりをどうやって強くしていけるのかっていうのは、部会ではすごく課題感として感じておりました。

ただ、やっぱりそういった地域の行事に参加したいご家庭が多いのもそうですし、子どもたちも何かできることがあれば手伝いたいなという思いは間違いなく持つてると思っていますので、「若い人が来てくれたら助かるよ」というような広報や、コミュニティを通じて若い人を呼び込めるような仕組みができたり、そういったものを各地域でできたらいいなとすごく感じておりました。

あとは小路地域もこれから夏祭りがありますが、昨年度から新たな取組として、金光桐蔭高等学校が近くにあるので、ボランティアに何人か来ていただいて、設営と片付けと当日の子どもたちのブース誘導とかをやってもらっています。ちょっと今年もできそうなので、そういった各地域でやられている小さな取組を継続していくことが何よりも力になるんじゃないかなというのを、部会を通じて感じましたので、これからそういった小さなことも続けていけたらなと思いました。

○山納委員

ありがとうございます。では島本委員お願いします。

○島本委員

西生野地域の島本です。ここ近年、災害が増えてきていて、防災訓練の大切さは皆さんに共通しているところなのですが、どうしても「防災訓練」という形になると参加者の中心が高齢者になりますが、やっぱり若い人や子どももみんなに参加してもらいたいのので、防災訓練のイベントを、もっと参加しやすく楽しいものにしたいとも考えてるのですが、なかなか難しいところがあります。それと、外国人が今すごく増えてきているので、その人たちにも将来的にはやっぱり参

加してもらわないといけないと思うので、どういうふうにしたら巻き込んでいけるかということも考えていきたいなと思っています。人権意識は、割とそれぞれの地域で高まってきてると思うんです。やっぱりそれは生野区の特徴だし、それはいいなと思うんですが、一緒に暮らしていく中で、そういう人たちも含めて、やっぱり防災訓練というか、そこら辺が大事だなと感じています。

それと今、近辺では大きなトラブルはないんですが、やっぱり防犯などについても。特に来年には自転車の交通ルールもすごく厳しくなるので、私達だけじゃなくて、外国の人たちにも浸透できるようなアプローチも考えていただきたいなと思っています。

○山納委員

ありがとうございます。では、お隣の西村委員お願いします。

○西村委員

舍利寺連合の西村と申します。こどもの未来部会に所属しております。こどもの未来部会の時にちょっと聞き忘れたりしたことも含めてお話しさせてもらいたいと思います。

今日ギリギリに来させてもらったのは、ちょうど生野未来学園で18時から見守り隊の会議があったからなんですが、西野委員も一緒に参加していたのでギリギリになってしまったのですが、そこで出た話で特に印象に残っているのは、万博のことがあるのか、警察がこの1、2年全然通学路に立ってくれない。統廃合の後、週に何回か一緒に立ってくれたりしていたのが、もう全く影も形もないということ。生野未来学園の正門のところから西に猫間川に行く道でも7時から9時までの通学時間は車が通れなくなっていますが、道路標示なんかほとんど消えて見えなくなっていて、通ってはいけない道を、わかっているのか、いないのか、通る車があったりします。そのへんは警察に是正を図ってほしいというようなことがありました。

今、4連合が一緒になっていますが、これからまた勝山さんが入って5連合が一緒になるということで、余計連携が難しく、範囲が本当に広大になって、見えなくなってしまうんじゃないかなという。そういうところを学園長にしてもそれだけ広大な範囲は、なかなか見えないんじゃないかなと思っております。

一方で、いいところもあります。子どもたちには連合というのは別に関係ないようで、生野連合の子が舍利寺連合の小さい子を誘って登校しているような姿を見ると、連合、連合というのは我々大人だけなのかなとも思ったりしました。

それと、春から助産師さんの活用が増えているというようなことをちょっと聞いているんですけど、詳しい内容をお聞きしたいなと思います。

それから、聞いた意見として、公園が本当に暑すぎて遊べない。本当にもう、

この二、三年自分でもこの夏を大阪で過ごすのは無理かなと思うぐらい暑過ぎますけれども、せめて公園に水遊びができる場所とか日除けシートが欲しいという声を聞いています。東小路の方とか、隣接する東大阪市の三ノ瀬公園なんかは水遊びができる施設があって、みんなそこに行っているみたいな話も聞くんですが、生野区でもそういう対応をしていただけると、わざわざ他の地域まで行く必要もないのかなと思うし、子どもたちも安全・安心に遊べるのかなと思います。それから統廃合後、なかなか子どもたちが遊べる場、学校という子どもたちに保障された場がなくなってしまって、子どもたちには申し訳ないなと思うんですが、学校跡地をもっと活用していけないか、日常的に集まれる場として自由に子どもたちが集まれる場として活用できないかなとも思っております。

それから、ちょっともう一つだけ。また全然話が違うんですが、シャッター商店街とかについて。地域の中で二、三日前に総会もあったんですが、そのあたりの対策をどうしていったらいいのか何かヒントを与えていただけたらなと思います。

○山納委員

ありがとうございます。それではお隣の加藤委員お願いいたします。

○加藤委員

西生野の加藤です。こどもの未来部会です。ここに来てからずっと学校の統廃合で子どもの通学路の問題が、4年経っても、またあまり変わってないようで。変わったと言ったら、生野未来学園の北側の一方通行の部分にグリーンの線だけが引いてくれて、細い道もグリーンの線だけで、あれで本当に子どもが守れるのかなと思って。もうちょっと行政の方には、本気で子どもを守る取組をやってほしいと思います。それが一番心配ですね。

○山納委員

ありがとうございます。それでは福田委員お願いします。

○福田委員

巽南の福田です。こどもの未来部会です。

巽南だけではなくて生野区全体だと思うんですが、最近よく長屋が取り壊されて空き地になり、その後にハイツが建ったりしています。2、30代の若いご夫婦、未就学児や小学校低学年のお子さん、ご家族が引っ越してきても、町会に加入されない。お隣も入っていないから自分も入らないというか、20軒くらいのハイツが建っても、全体でほぼ皆さん入ってもらえない。毎年やっている生野区の防災訓練でも、確認が取れないというか。よく安全の場合はタオルをかけておいてくださいと言うんですが、ハイツの入口の鍵が閉まっているので、中に入れない。勧誘とかの声かけもできない。実際には、そのハイツの管理者さんにもご相談をして、町会に入ってもらおうようにちょっと話を進めていかないとい

けない。1人1人に声かけても、お隣みんなが入ってくれたら私も入るけど、なんでうちだけ入らなアカんのとか、そういうふうになってくると町会の運営も難しい。皆さんも町会費があるから入るのが嫌とか、入って何をするのかわからないとか、手伝いがなんか忙しそうとか、そういう思いの人がいっぱいいて、実際に町会が何をしているのかもわからないから入らないという方もたくさんおられると思うんですよ。そこが難しいので、町会からも声もかけにくいですし、皆さんのまちではどのようにして、声掛けをされているのかを知りたいなという部分もあります。

○山納委員

ありがとうございます。では、足立委員お願いします。

○足立委員

こどもの未来部会の足立です。

学校と再編のことでかなり課題が出てきているので、この前の部会でも意見があったように、やっぱり検証する時期に来ているのではないかと思います。

それは多岐にわたると思うのでここでは言いませんが、実際に通われてる保護者だけではなく地域の皆さんの声も含めるような形で、具体的なことを聞くのが大事だと思ってます。

やっぱり学校が大きくなると、保護者の方も教職員との関係も希薄になったりするんだなと思って、心配しているところがあったのですが、この前に聞いた話では、6月15日の毎日新聞のデジタル、16日の紙面で、万博に学校で遠足に行くときに缶の持ち込みができないということで、問い合わせたけれど、なかなか返事がなかったということで、学校を通じても聞いたけれど返事がなかったと。それで保護者が実際に危機管理室まで行って確認して、それは行けるようにはなったんだけど、例えばそういうすごく時間がかかる場合も、行政が学校の課題に寄り添ってもらって、行政の方からもそういう困難なことについてはアプローチしていくような体制は取っていただきたいと思いました。

それからあとは本当に生野区がめざす子ども像ってどんなかなって。生野工業高校がなくなることはもう決まっているそうなんですけども、本当に生野工業高校は生野区のものづくりの担い手をずっと育ててきたところなんだと、私は改めていろいろなところで聞いて思いました。本当に、テストの点数だけで学校の進路が決まるようなことが果たして子どもたちにとっていいのだろうか、もう1回大人が考える時に来ているんじゃないかなと。どうしてもテストの結果の高い・低い、偏差値がどうこうということで、議論されているけど、本当に子どもたちにとって、私達のまちが望む子ども像っていうのは、どうなのかなというのは議論していきたいなと思っています。

もう一点だけ。私はちゃんと見ていなくて、先日知り合いから聞いたんですが、

働き方改革ということで、市長の方から地域行事に学校の教職員を動員しないで欲しいというプリントが出たと聞いています。働き方改革だから、私も出たいけど、別に土日に地域に出て一緒にお餅つきするのがいけないというわけじゃないと思うけど、やっぱり取り方によったら、非常に誤解を招くので、まして、先ほどから統廃合になって地域の保護者と地域との関係が、学校を通してっていうのは希薄になった上に、またそういうプリントが保護者に配られたら、何か「地域行事って別に学校は関係ないねんな」みたいな感じで取られないかなと思って。このプリントの件については、また後でも結構なので、区としてどんなふうに考えておられるのか聞きたいなと思います。

あと一点だけすみません。西村さんの途中だったんですけど、商店街の街灯の問題。商店街の街灯は商店街の街灯に面しているところの人たちが町会費とは別に負担しているんです。本当にこれでいいのかということが、この間ずっと議論されていて。当該の人だけの問題にしているのかどうか。これってやっぱり町全体の防犯とかの関係ではないかと思うので、商店街も今いろいろ変わってきているので、ぜひそのあたりもまた全体として議論してほしいと思います。

○山納委員

ありがとうございます。では安委員お願いします。

○安委員

こどもの未来部会の安といいます。部会にはちょっと行けなくて、中身でしか判断できないんですけど、生野区の三本柱の一つの多文化共生について調査された結果を見させていただきました。最もなことを提言、施策として出しているので、その絡みで現場の話をちらっとしたいと思います。

一つは、あるスリランカ人の40代のお母さんの就労支援、職探しでちょっといろいろ製造現場の方と話をするんですけど、製造現場で働いてもらおうと思ったら、指図に日本語が書いてあるので、やっぱりそれが読めないと雇いたくても雇えないという。そういう外国人をケアするほどの事業規模じゃありませんから、こちらも苦しいんですけど、何とか雇ってもらえないですかという話をするんです。事情があって、もう一つ飲食店に声かけると、彼女の子供が小さいので預けるわけにはいかないという問題があって。

僕は三つの点で言おうと思っていて、暮らしと学びと医療。暮らしがとても大変で、日本人も大変なんだから、外国人も大変に決まっているというお話もあるかもしれないですが、もっと底辺にあるのは学事だという認識を持ってほしい。もう一つ言うとも一千万人って言われるんですね。近未来、一千万人。人口は1億人を切ります。外国人なくしては日本の未来はありません。

最先端の生野区としては、やっぱり暮らしを守っていくということが一点と、あと異の方でPTAの人から聞いたんですけど、300人規模の外資系のところで、

異の方は比較的外国人が少ないんですけど、20人ぐらいの規模。今年は1年生が3人、4人、転校生が3人来ていて、その子たちは、前の校長先生たちがものすごく対応悪くて、今回はスタッフ・教員も充実させることによって、何とか日本語対応ができています。ところが中学校の方は駄目なんですね。中学校の方はそういうスタッフが充実されていなくて、ものすごく困っているという。今度、修学旅行があるって聞いたんですが、フィリピンの同級生の言っていることが、ちんぷんかんぷんでわからないという状況。だから学びの中での日本語の充実、例えば通訳をかませるとかそういう問題が、学びの中にある。あと3点目は医療。小路の方にあるクリニックで、就労支援ということに日本語学校が連携してまして、30人の参加者が来られたんですけど、その半分以上がベトナム人。そこでやっぱり困るのは言葉です。受付の人がベトナム語を喋れないから。そういうことも含めて様々な取組はあるんですけど。

最後、結論だけ言わせてもらおうと、その提言は今回の多文化共生の中に全部盛り込まれてます。委託された法人が一生懸命問題点を抽出してやってきて、そのことに対して一番の問題になっているのは、僕がかねてから言っていますが、相談窓口センターを、ぜひともその情報を民と公と連携した形で、公でできないことも民でやろうとしているところもありますし、民ができないことを公がやるというね、相互補完作業をやるべきところが、やはり僕は相談窓口センターを作るべきと思っています。相談窓口センターはあるというふうにこの前区長が言っていましたけど、僕には見えてないんで、そこはきっちりと回答願いたいと思います。

○山納委員

ありがとうございます。では永裕委員をお願いします。

○永裕委員

私からは、こどもの未来部会の部会長として一つだけ確認があります。

前回のこどもの未来部会では、学校の統合によって起こったことをぜひ調査していただきたいというのが地域で動いている方からも出たということで、私は現役の保護者ですけども、いろんな角度から調査をお願いしたいと全体の意見として出たんです。今回、参考資料3に区の考え方として書いていただいている内容で、「学校の適正配置の検証を進めるため、その方法について、教育委員会事務局で検討が進められています」と書いてあるので、調査自体はやっていただけたという方向になったと理解してもいいのかなと思っていますが、そこだけちょっと念押しというか、こどもの未来部会としては、ぜひやってほしいというのが強く出た意見でしたので、区のご返答をいただければと思います。

○山納委員

ありがとうございます。回答はまた後ほどまとめてお願いします。では廣川委

員お願いいたします。

○廣川委員

まちの未来部会の廣川です。

皆さんの資料を拝見して、どこも課題感であるのが、若手の人材が足りないということなのかなと。私は若くもないんですけど、若手代表としてちょっと意見を言わせてもらおうと、この2年間を通じて何かわくわくするような行政っていうような感じはしなかったなって。何か生み出すわけでもなく、立ち止まっているっていうか足踏みの状況で。動くのが良い、行動し続けるのが良いっていうわけでもないんですけど、何かわくわくしたところがないから参加もしにくいのかな。どうなんだろう。自分は、まちづくりに興味があるので参加はしているんですが、だんだん気持ちが薄れていくような、わくわくがやっぱり足りてないのかなと。どこの行政区も多分そうなのかもしれないんですけど。

やっぱり子どもたち中心で考えたときに、先ほど足立委員も言っていました、学力って今後の未来でどれだけ必要かなって考えたときに、今、女子大学が共学になっていくところもある中で、子どもの数も減っているし、将来的には、大学はどうなっていくんだろうって考えると、学力よりも何か未来を生き抜く力の方が重要なんじゃないかなって思います。もっと深い子育て、子どもを育む環境作りっていうのがまちでできたらいいなと思っています。その中で、社会の接点といったところは、行政がもっと作っていくのが良いんじゃないかなって、ふわっと思っています。あまりまとまってはいるんですが以上です。

○山納委員

ありがとうございます。では森口委員お願いします。

○森口委員

北鶴橋の森口です。くらしの安全・安心部会の部会長をさせていただきます。

参考資料1の考え方、対応というところで、私も2、3点発言させていただいてるんですけども、今日もこの雨の中でも、やっぱり私ども北鶴橋連合の鶴橋駅周辺を含めてたくさんの観光客、また買い物に来られる方がたくさんおられました。地域の防災についてもこの1年ぐらい北鶴連合でも重点を置いて取り組んでいます、中村一仁委員から出ている意見で、いわゆる一時滞在者ですね、発災したときに区外から来ている観光客や買い物客に対する対応とか、逆に区内の人間が外にいる場合、どのように対応していくのかっていうところで、帰宅困難者協議会というのがおそらく大阪市の中にあると思うんですが、その資料を見たときに、鶴橋駅東側の一時避難所がパチンコ屋の立体駐車場となっていて、そこまで案内するのは、鉄道事業者となっています。ただ、実際に発災したときに、鉄道事業者が、あふれた観光客や買い物客含めて、その地域で従事し

ている人間、商店や会社に仕事で来られている方、そういった方をパチンコ屋まで導けるのか。もし明日発災したら、鶴橋駅のガードの下は鉄板で覆われてます。ましてや周りはアーケードの商店街で80年以上経ってる建物がたくさんあります。だから早急に行政と鉄道事業者の間で話を進めてもらって、ガード下の鉄板を1日でも早く取っていただいて、何か発災したときに、皆さんが安全で安心して避難できるような体制をとっていただきたいと思います。

○山納委員

ありがとうございます。では中村副議長お願いいたします。

○中村（寛）委員

こんばんは。部会の方は、まちの未来部会に参加させていただいております。今日、参考資料1・2・3、各部会の分を見せていただいて、全部に共通しているのが学校再編の後のことや、海外から来られている留学生のこと、また、自転車などの交通ルールの問題などで、部会に分かれていても、何か共通してるなと思いました。

私は田島地域から参加させていただいておりますが、先日、まち協の総会を初めて6月に参加させていただき、連長と久しぶりにお話しする機会があったので、防災訓練や餅つき大会など、今までしていた事業を、またやっていきたいと思いますという話をさせていただきました。でも、学校再編後の小学校の跡地を利用するのもちょっと面倒くさい。なかなか話が通じない。するんだったら、学校全体でしたいっていう思いがあるようで、『『コロナもあったから』』といつまでも言っていたらあかんよ」って言って帰ってきたんですけれども、そういう状態でなかなか次へ進めていない状態なので。部会では、廣川委員から、組織が見えちゃっているからなかなか若い人が入ってくれへんというような話がありまして、組織が見えたら入って来ないのかとか、私もPTAから地域のことに関わらせていただけるようになった1人なので何とか。若い人たちはいるんです。何か行事をしたら参加もしてくれるんですが、一緒になってちょっと今まで頑張ってくださっていた世代の方と若い人たちを繋ぐ役割をきちんとしていかないといけないと総会の後反省して帰らせていただきました。

○山納委員

では北口議長、お願いします。

○北口（充）委員

くらしの安全・安心部会ですが、意見交換のテーマが防災の次世代を担うジュニア災害リーダーの育成です。令和6年度は16地域で、令和8年度に18地域へ増やすということをお聞きしておりますので、ぜひ進めていただきたいと思います。そして令和7年3月現在37名ということですが、可能な限り増やしていただいて、もしできるものでしたら、小学校高学年にも育成研修を実施などし

て、幼い頃からそういうふうな意識を感じてもらえるようにしていただければいいかなと思います。

そしてもう一点、災害時協力事業所登録団体を、6年度は3件増やされたということですが、生野区全体から考えたら少ない数かと思います。ぜひその数ももっと増やしていただきますようお願いいたします。

○山納委員

ありがとうございます。今井委員お願いします。

○今井委員

こどもの未来部会の今井です。2年間お話をいろいろ伺っていて、今、学校再編で地域が広がると、こんなにいろいろな課題が出てくるんだなと、皆さんのお話を聞いて私も改めて思いました。検証を通じて、ぜひ子ども像であったり地域像っていうのをもう1回みんなで一緒に作っていく良い時期として捉えたいんじゃないかなと思いました。

あまり課題ばかりというよりは、私はこの生野区の区政のことに関わらせていただいたり、地域活動をちょっと見に行ったりして、本当に子どもたちも元気ですし、魅力的な大人の方々が本当にたくさんいらっしゃるなって思っています。若い人も見かけますし、外国から来られた方は若い人がたくさんいらっしゃるのではね。そう思うと、ポテンシャルがすごくあるなって思っています。

子どもに関して言いますと、子どもって、親とか教師とか一対一の直接的な関係より、斜めの関係の方がすごく育つというところで、生野区はすごくポテンシャルがあるなと思うので、ぜひ地域活動がもっと広がっていくような仕掛けを、広くなった地域をもう一回見直して、何かできたらいいなと思います。すごく抽象的ですけども、でも、そう思うので、ぜひこの機会に何かやっていけたらなと私自身も思っています。

○山納委員

ありがとうございます。川中委員お願いします。

○川中委員

私からは3点申し上げます。多文化共生に関して2点で、その一つ目は未就学の児童やその家庭の支援の拡充についてです。

今、外国人住民あるいは外国にルーツのある住民が増えていっている中で、日本語そのものの習熟がまだ過程にある、あるいは日本社会の仕組みの理解も形成過程にあるという人々が増えているのではないかと思います。生野区はやさしい日本語の充実をこれまでやってこられて、それは素晴らしいことではあります。日本語そのものがまだおぼつかないところもある人々が増えていることも考えられます。ですから、多言語対応やアウトリーチなどを充実していく必要があるのではないのでしょうか。

多文化共生の課題の二つ目は、移民背景の若者の創業や就労の支援の必要性です。区内の20代、30代における外国人住民等の比率が非常に高いことが生野区の特徴であろうかと思います。そうであれば、移民背景の若者の創業や就労の支援の拡充は、生野区の産業政策を考えていく上で極めて重要な事項かと思っています。生野区のポテンシャルという話が先ほどもありましたが、そこを明らかにしていく上でも必要なことかと思っています。

最後の一点は、子ども・若者政策に関するものです。先ほどから学校再編等に関する議論が取り沙汰されておりますが、そうした場でも子どもや若者の意見はどのように聞かれて反映されているのでしょうか。その他の子ども・学校の政策に関する事項も同じです。子どもや若者に関わる事項についての意見の聴取と反映をぜひ推進していただきたいと思いますし、地域活動でも従来の活動への参加を促進していくだけではなく、新しい地域活動を子どもや若者が主体的に創っていくことの支援も併せて考えていけると良いのではないかと思います。

○山納委員

ありがとうございます。では長谷川委員お願いします。

○長谷川委員

くらしの安全・安心部会の鶴橋連合の長谷川です。

鶴橋地域では今度、このあと2年ほどなんですが、北鶴橋小学校と鶴橋小学校が合併します。ここに書いていますように、皆さん見守り隊でちょっと苦労されてると思うんですが、我々もこれから見守り隊がどのようになるのかなということ心配しております。

鶴橋では、一応黄色の旗を持ってやっているんですけど、車や自転車が、特に通勤・通学の時にスピードを出して通学路飛ばしています。子どもを守るためにも、何か目立ってよくわかるような工夫をしていただきたいのと、今度、我々もそれで会議していかないといけないのですが、何かアドバイスあったら欲しいなと思います。

それと、ちょっと関係ないんですけど、マイナンバーカードをこの間作ったら、「いいな」って初めてわかったんですが、医者に行った時にいつも保険証を出してるんですが、マイナンバーカードをぱっと出したらさっとできました。これはどんどんPRしてほしいなと思いました。

○山納委員

ありがとうございます。では籾本委員お願いします。

○籾本委員

くらしの安全・安心部会の籾本です。よろしくお願いします。

今月8日と22日に、こちらの会場で防災の訓練がありました。その中で、避

難所の運営のお話もありました。大きな地震・災害などが起こると、いくら避難所の開設の訓練をしていますが、あまりにも不確定な要素が多すぎて現場は大混乱すると思います。2、3日経って何とか格好がついてくるんじゃないかと思います。

でも実は、大変なのはその後で、何日も何か月も何年も避難所生活を送ることになります。その中でいろいろな問題が出てくると思います。幸いにしてと言いますか、区の防災担当の方が被災地の手伝いに何度も行かれています。その中でたくさん問題を見たり聞いたりして、また、実際に解決もされていると思います。そういった経験をもとに、避難所開設の訓練だけではなくて、避難所運営の訓練というか、講習をしていただきたいなと思います。

○山納委員

ありがとうございます。井筒委員お願いします。

○井筒委員

こんばんは、東小路の井筒です。全てのことにに関して共通しているのが、もちろん若手の問題なんです。東小路はPTAも潰れています。なのでPTAに頼ることが全くできなくなっています。どうやって若い人を集めるかと言うと、私達の年代が下の子と繋がって集めていくしかありません。町会長も動いてはくれません。なので、もう自分でやるしかない私は今思っているんですが、まちづくり協議会自体も正しく機能させる必要があると思っています。これも全く機能しておりません。小路地区と同じで、金光藤蔭高校のボランティア部と生徒会の方にお手伝いいただいて行事を進めているような状態になっています。地域の中高生をもっと引っ張り込む必要があると思っています。そういう若い人との繋がりも横の繋がりとして、あと中国人の友達ができたので、その人も引っ張り込んで仲間を集めていこうとは思っておりますが、一番お願いしたのは、やっぱり上の方にもっと危機感を持っていただきたいということです。町会長会議なり何なりで、もっと危機感を持って町会から無理にでも何人かずつ行事の度に出していただいて、何をしてるかを見せるということが大事だと思っております。何をしてるか分からないじゃなくて、何をしてるのかどんどん見せてもらって、その中で1人でも2人でも手伝ってくれる人が出てきたらいいなと最近ずっと行って行動しておりますので、上の方に危機感を持っていただければと思っております。

○山納委員

ありがとうございます。田村委員お願いします。

○田村委員

巽の田村です。巽はコロナの以前からもう人が集まらないし、準備も大変ということで、盆踊りはなくしました。代わりに他のイベントということで、サマー

フェスティバルという形で昨日恐竜祭りを実施したのですが、実際に動いていただいたのは、巽中学校と巽小学校の PTA の方々と、あとはいつものまち協の人と青年会が手伝ってくれて、盛況に終わったんですが、せっかく PTA の方に参加していただいているんですが、その後に、地域のそういう活動になかなか普段から参加していただけないというのがちょっとあって。それがこれからの問題というか、どこも同じだと思いますが、若い力が入ってくるにはどうしたらいいのかっていうのがやっぱり問題かなと思います。

○山納委員

ありがとうございます。西野委員お願いします。

○西野委員

遅れて申し訳ありません。毎日見守りを生野未来学園の校門の前でやっていて、子どもたちの挨拶がすごくかわいいですよ。本当に挨拶のできる子がいっぱいいて私も楽しくボランティア活動をさせていただいています。

くらしの安全・安心部会の中で、女性目線での避難所運営というような話もあったんですが、実は昨日も防災リーダーの会合がこの場でありました。本当に区役所の方たちも一生懸命私達に指導していただきました。また、私は連合の女性部長もしておりますので、先週はバスで東大阪の消防署見学に行き、連合の女性部長さんたちのメンバーも一生懸命参加されているのですが、自分たちが地域に帰って、どれだけ皆さんに訴えていけるかなっていうのがね。避難所でもやっぱり男性が中心になっているところもあるし、地域でも高齢化が進んでいますので、なかなか若い人たちを巻き込むことができない。また女性のアジサイパートナーさんも、昨日も西生野では何人か欠席あったんですけども、そういう人たちをうまく巻き込むには、やっぱり魅力のある楽しい地域活動にしていけないといけないと思っています。今、女性部長は福祉の方で、テイクアウトやなかよし喫茶とかを一生懸命やっているんですが、防災・防犯とかになったら、なかなか女性の立場って言うのかな、行っていない部分がありますので、これから本当に、まず自分自身が率先垂範して行動を起こしていけないといけないと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

○山納委員

ありがとうございました。ということで皆さんに発言いただきました。理論上は8時10分に終わってるはずなんですけれども、皆さんの熱い議論・思いをこの場に残していただいたと思います。

今から質問に対するお答えを区役所の方にさせていただこうと思います。お願いします。

○森岡保健福祉課長

保健福祉課長の森岡です。

西村委員からご質問いただきました助産師の配置という点でございます。昨年の区政会議でもご意見をいただき、それを踏まえて今年度から助産師の配置について新規拡充させていただいております。

今月の広報紙にも載せさせていただいているんですが、毎月第1水曜日に助産師が母乳に対する悩み等の相談を聞く「母乳相談」を実施させていただいております。また、これからお父さん・お母さんになる妊娠中期のプレパパ・プレママに対してウェルカムベビースクールというものを毎月第3火曜日に実施させていただいております。これまで年に4回程度、助産師の方にお越しいたいただき講話等をしていただいていたのですが、こちらにも毎月助産師の方に来てもらい、相談を聞いていただけるように拡充を図らせていただいております。最後に、あひるランドといいまして生後3か月の赤ちゃんと保護者の方々に集まっておき、子育てに関するご相談やお話などをしていただいているイベントは、今までは保健師だけで対応させていただいていたんですが、毎月助産師の方にお越しいたいただくことにしております。ですので、毎月3人の助産師の方に区役所にお越しいたいただき、家庭・保護者の方のご質問や悩みのご相談を聞いていただいております。私からは以上です。

○中條地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長

生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長の中條と申します。学校の関係でご意見をいただいております点について、お答えできる範囲でお答えさせていただこうと思います。

まず、通学路の関係について、加藤委員等からご意見をいただいておりますが、ご存知のとおり、学校の再編に向けては、検討会議の中で通学路の安全対策に関する部会を設け、鶴橋の方などもこれから再編の予定ですが、見守りのあり方や体制等についても、これから見守り隊の方にも参画いただきながら検討していく予定になっております。また、再編後の学校の通学路の安全対策については、生野未来学園についても言及がありましたが、地域の方から注意喚起などができないかのご相談があったところについては、区役所の方から電柱への巻き付けシートをさせていただく等しています。また、大阪市では、学校の通学路について通学路安全プログラムというものを定めて、現在も、3年間で区内全校について点検をやっていくというような形で取り組んでいるところです。再編後の学校も含め通学路の点検について、ご意見いただいているところについては、道路管理者である建設局など関係機関と協議しながら、できるものをしていくという形で引き続き取り組んでいこうと考えております。

それから、学校再編の検証に関するご意見ですが、配付資料の、部会でいただいたご意見に対しての考え方、対応に記載しているところまでしか現時点では決まっておりません。基本的には、学校適正配置審議会の方で検討されており、

生野区でもこの間の学校再編で、大池、田島南、それから生野未来学園の3校を開校してきておりますが、開校して数年経っていることもあり、これから検証をしていく必要があるということについて、昨年度頃からご意見が出ており、今年度、児童の教育環境や学校運営の中での先生方の連携など、いろいろな面から検証していくということが課題として挙がっております。検証の方法については、まだこれから検討と聞いており、どういう形でやるのか我々も把握していませんので、そちらの検討の状況を踏まえてまいりたいと考えております。

それから、働き方改革のメッセージのチラシの関係ですが、こちらにつきましては、区役所からも連長会等でお話をさせていただき、また学校からも保護者の方々に発信されているところですが、基本的には、今、教職員の採用状況が非常に厳しく、全国的にですが大阪市も例外ではなく、教職員として採用を希望される方がなかなか増えてこず、むしろ減っているという状況があります。また、管理職もなかなか激務という状況で、そのあたりを敬遠されているというところもあり、教育委員会・大阪市としては、学校の教職員が将来を見据えて安心して働ける環境を作っていかなければいけないという課題認識の中でメッセージを発信させていただいております。また、地域活動との関係ですが、もちろん、地域の方々のいろいろな支えがあって円滑な学校運営ができているということは各学校とも皆認識しておるところですが、今回の働き方改革につきましては、学校の運営も、学校行事のやり方なりも含め、学校に関わる全てについて、何かしら工夫をして、少しでも学校現場の負担を軽減するという観点で、各学校で考えるという形になっており、各学校が地域の方と、どういう形で工夫して少しでも負担軽減できるかというところをご相談していくという考え方で、まずその考え方を共通理解するということでメッセージを発信させていただいております。学校の方もなかなか地域の方々にご相談しにくいところがあると思いますが、学校から一方的に「もう、学校の方で、こうします」というよりは、どうにかしていかないといけないという中で、学校のご相談には地域の方でも応じていただきたいなというところで、区役所としても、そういう形で連長会等でも発信させていただいているところです。

○木村地域まちづくり課長

地域まちづくり課長の木村と申します。

町会加入促進についてのお話がありました。現状の区の取組を簡単にご説明させていただきます。ある程度以上の規模の建築物で、マンションとかそういったものについては、事前に大阪市の部局から、生野区に建つという情報が入るので、その場合は、その建築する事業者と連携して町会加入についての説明を一旦させていただいています。ただ、大体そういう情報が来る時には、まだマンションの管理会社までは決まっていないことが多いのですが、建築事業者が管理会

社もいつかは連れてきますので、連携を取っております。

その情報を連合町会長様に、こういったところに建つという情報提供はさせていただいて、具体的に町会長様へご紹介させていただいています。町会長様が情報共有をご希望されない場合もあるのですが、できるだけ地域と繋げるように、情報の共有を図っているところです。

あともう一点、商店街の街路灯のお話もございました。現状の取組とといいますか、私ども生野区役所として街路灯に関わる予算は持っていないのですが、例年5月から6月にかけて、大阪市の経済戦略局という部局が、街路灯の撤去や補修の補助金を施策として打っております。大体の補助率は2分の1とか4分の1なので、全額補助するわけではないのですが、そういった取組もやっておりますので、もし個別のお話がありましたら、経済戦略局にお繋ぎさせていただきたいと思っております。

○宮城企画総務課長

企画総務課長の宮城でございます。川中委員、安委員から昨年度実施した外国人に関わる調査結果に関わって何点かご発言があったと思います。この調査結果のご紹介でも触れてるのですが、この取りまとめた内容につきましては、9分野33の柱という形で事業者の方に取りまとめをしていただいているところでして、先ほどご指摘いただきました、言葉の問題に関わって、生活していく上でなかなか難しい方、またご紹介いただいたように就労の関係など、そういったところでもやはり日本語の問題が非常に大きな課題だと我々も改めて感じたところです。今回実施した調査を受けまして、今後できることなど、また民間の方々と共同で解決に繋がっていけることについて、今後も引き続き検討をしていきますので、よろしくお願いいたします。

○山納委員

ありがとうございました。それでは若干オーバーいたしました。意見交換終了とさせていただき、進行を北口議長にお返ししたいと思います。

○北口（充）委員

山納委員ありがとうございました。本日、関係者としてご出席いただいております歴代の議長等を務められました皆さまから、特にご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。ご発言いただく際には、挙手の上、お名前を述べていただきますようお願いいたします。

○多田様

巽東の多田です。

先ほど、若い力が無いとのお話がありましたが、私たちも地域でふれあい祭りをやった時に、金光藤蔭高校の学生さんに10人ほど来てもらい、非常にうまく運営に携わってもらいました。前日の準備の時に「15人呼んでくれたら」って

言うから、そんなに甘えたらあかんということで、地域が断ったんですけど。それともう一つ、まちづくりセンターの平井さんの斡旋で、大阪偕星学園高校さんからもそういう学生を派遣してもらうことができるそうですので、区民レクリエーションなど地域で人が欲しい時に、大阪偕星学園高校・金光藤蔭高校の学生さんから参加されていると聞いております。

それともう一つ。非常に悲しいことなのですが、6月14日に死亡事故が起きました。自転車とトラックの衝突です。自転車が信号のない交差点を一旦停止せずに道路を渡ったんですね。でもこれは他人事ではなくて、僕たちが地域を見ている限り、交差点で自転車が止まるのを見たことはないですね。ほとんど止まらない。運が良かったから事故が起きていないだけで、運が悪かったら死亡事故が発生する。ぜひ皆さん、地域で自転車は一旦停止するように言ってください。子どもたちも大人も、全然周りを見ないで直進するところをよく見かけますので、怖いなと思っていたのですが、ただ事故が起きていないだけであって、起きた場合は死亡事故が発生するということです。ぜひ皆さんの方で、特に子どもたちに、信号のない交差点では一旦停止していただくことを啓蒙していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○田中様

北鶴橋の田中です。若い人材の件について。40年ぐらい前に自分が青少年指導をやっている時の話ですが、2年に一遍必ず役所の方から次の人材を推薦してくださいという話が出てくるわけですが、当時の各町会長さんをお願いに行っても、「うちには若い人がおらん」という一言で返されていました。もうそればかりで困ったなと思った時に、町会長会議に一度出させていただき、各町会長の皆さん方に、「我々で選ばせていただけますか」とお願いしました。いわゆる青少年指導員の仲間、自分らで若い連中は友達がいてるので、声をかけることによって、入ってもらう時もすごく簡単なもので、その後、今防災リーダーとかをやってくれてる森口委員なんかは、自分たちで全部選んでくれるので、うちは割と若い人材ができてくるのかなと。

それと、井筒委員から、町会長は何もしていないというお話を聞いたのですが、これはまた町会長さんの自分の意図とする行事とか、興味のある行事では参加していただけるんですが、町会長会議で決まった事業を、俺は関係ないなということで、出席してくれない町会長もたくさんいます。そして大会なんかに行きますと、「うちの町会長来てませんか」とって、必ずその町会長は僕に聞きに来るんですよ。連鎖反応は起こりますので、これからも反省して各町会長さんにはお願いしたいなと思っております。

○新井様

新井です。日頃のコミュニケーションが無いと、防災でも防犯でも何もかも上

手くいけません。ご近所で仲良く、本当に地域も仲良く誰とでも挨拶を交わせる生野区にならないといけないと感じます。

あと防災訓練の高齢化。どうやったら若い世代を巻き込めるかの一つの案として、災害はどんな時に起こるかも分からないし、いろいろなパターンが想定されますが、学校が避難所になることが多いので、学校の防災訓練に地域を混ぜていただくというアプローチをかけていただけたら、一つのパターンとしても、うまく進むと思います。

あと PTA が潰れているというご意見もありましたが、PTA って、きっと役員がいなくて、PTA 会費を払われていたら、役員をやっていなくても皆さん本当は PTA なんですね。なので、いろんな形で若い世代っていうのは巻き込めると思うので、PTA がないからとかではなく、いろいろなところでお声掛けをしていただけたらと思います。

○三木様

鶴橋地域の三木と申します。先ほど須郷委員から、路上喫煙禁止のお話がありました。1月27日から既に始まっていますが、私の自宅は大阪コリアタウンの入口にあって、この禁煙のポスターを3か月ほど貼らせていただきましたが、ほとんど変わらない。3か月ぐらい経ちますとポスターそのものが汚れてきたり、くたびれてきまして今はもう撤去しておりますけども、区役所あるいは警察・消防からきたポスターは自宅前のシャッターに貼っております。喫煙場所等を何か所か作られ、1月27日から大阪市内は路上喫煙全面禁止というポスターを作成されましたけれども、日本語と併せて韓国語、中国語も表記したポスターを作られて啓蒙される予定があるのかどうか、ちょっとお伺いしたいと思います。

○船方様

北鶴橋の船方です。先ほど行事には PTA 等が参加してくださるけれども、実際のお手伝いをしてもらえないというようなお話があったかと思います。私の個人的な考え方ですが、多分大きな単位で手伝って欲しいと言っても、誰かがするだろうというふうになって他人任せになってしまうと思うんですね。そういう場合は、この方にこれをして欲しいとか具体的な役割分担を言ってお願いをすれば、大概の方は手伝ってくださると思うんですね。私も地域で青少年福祉委員の代表をさせていただいておりますが、昨日スリーアイズ大会をしました。その行事のお手伝いも青少年指導員の方をお願いをしたりしているんですけども、具体的に「駐輪場の方をしてほしい」とか、「受付のところをこういうふうにしてほしい」というような形で具体的にお願いをすると、そこで多分責任感というのが芽生えると思うんです。そういったことをもう少し考慮しながらお仕事をお願いしていったらどうかなと思いました。

あと、在留外国人の方が増えて、言葉の問題があるというお話もありましたが、

特に就業目的で日本にいられている方というのは、自国で多少は日本語を勉強してきていらっしゃるんですね。こちらの受け入れ側の方が、やさしい日本語で相手に伝えれば伝わることも多いんです。やさしい日本語っていうのを、私達自身、受け入れる側もちょっと勉強していかないといけないんじゃないかなと思います。そういった講習会とかもあれば、役立つんじゃないかと思いました。

○北口（充）委員

関係者の皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。

それでは議事2その他ということで、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

○森区政推進担当課長

皆さま、大変お疲れ様でございました。

事務局から二点お知らせをさせていただきます。

一点目です。配布資料はありませんので前方のスクリーンをご覧ください。部会でもご説明させていただきましたが、昨年度も実施させていただいた若い方との意見交換会について、今年度はジュニア災害リーダーと意見交換をさせていただく予定にしております。趣旨としましては、これからの未来を担う若い世代に災害に対する意識を高めていただくため、自由で柔軟な発想や意見をお聞きし、今後の施策に繋げていくことが重要と考えており、貴重なご意見を伺える機会になると考えているところです。

二点目になりますが、参考資料4としてお配りをしている区政会議の委員改選についてです。部会でもお知らせしましたが、区政会議の条例によりまして委員の皆さまの任期が一旦本年9月末までとなっております。10月以降の委員の選定につきまして、現在各地域へご推薦の依頼を進めているところです。資料の裏面にもありますように、全体会におきましても、このメンバー構成としては、本日が最終となっております。つきましてはこの度、2期4年の任期満了にて退任される委員の方を代表していただき、恐れ入りますが、北口議長から一言いただければと思います。よろしくお願いします。

○北口（充）委員

2期4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。今後も生野区また、生野区区政会議の委員の皆さま方のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

それでは本日の会議を踏まえまして、筋原区長から一言お願いいたします。

○筋原生野区長

本日も長時間にわたりまして貴重な多くのご意見を賜りまして誠にありがとうございました。そして今回退任をされる委員の皆さま方、本当に長きにわたり区政推進にご尽力を賜りまして心より厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

います。

今、外国ルーツのまだ日本語を話すことができない児童や、ご家庭が増えているという状況で、日本語指導や生活上の相談を、行政だけではなくて支援団体や日本語学校などいろいろなところと連携して実施していくということと、また学歴があるなしにかかわらず、これは外国ルーツの方だけではなく日本人も含めてですが、とにかく仕事があるという状態が必要ですので、就労支援として、生野区の主要産業であるものづくり産業と飲食業で、振興施策を行っていくと。そしてまた、その集大成として、夜市の形で、外国の方も含めた就労・起業の機会を常設の場所、近鉄鶴橋駅の東口の高架下で作っていくということを取りまとめた「生野区グローバルタウン物語」プロジェクトを、今進めており、近鉄グループとも今交渉しているところです。

一方で、日本全国で外国ルーツの方が増えていく中で、生野区が日本を先導するモデルになるであろうということで、内閣府の方から「スーパーシティ構想」、これはスーパーシティ特区というのが、今日本で大阪市とつくば市だけが認定されていて、大阪市の指定エリアが万博の夢洲とうめきただけなんです、10月に万博が終了していく中で、次のエリアとして最有力候補が生野区となっております。スーパーシティ特区というのは規制緩和なんです、5月末に生野区からも応募しておりまして、日本語指導は、今も鶴橋小学校でも先端校ということで日本語指導をやっておりますが、教育委員会がやる場合は教員免許が要りますし、また学校でないとできないんですが、これを規制緩和して、教員免許がなくても、また学校以外の場所でもできるようにということで、実際に今年度から生野区でも始まる予定となっております。

また引き続いて、来年度は常設の場所として鶴橋駅の高架下で実際に社会実験として進めることができるように今取り組んでいるところです。

こういう形で、今日いただいた多くのご意見を踏まえさせていただき、生野区のまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きのご支援お力添えをよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

○北口（充）委員

筋原区長ありがとうございました。

先ほどもご報告がありましたが、このメンバーでの会議は本日で最後でございます。皆さま、円滑な運営にご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

区政会議は、我々委員が区民を代表して、区政に参画する大切な場です。本日、生野区の取組についての意見の共有がなされましたので、委員の方々につきましては、地域の皆さんに本日の会議の様子をお伝えしていただければと思います。

す。

それでは、これにて令和 7 年度第 1 回生野区区政会議全体会を終了いたします。皆さまありがとうございました。